

報 告 書

開催日時	平成 24 年 5 月 21 日(月) 午後 7 時～午後 8 時 25 分	
開催場所	生出コミュニティセンター	
出席議員	挨拶 藤倉 泰治	
	司会進行	菅原 悟(副班長)
	報告者	清水 幸男
	記録者	菅野 定
	出席議員	上記のとおり
参加人数	21 名	
主 な 要 望・提言等	<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規狩猟者確保対策事業には賛成だが、狩猟に係るゴミ処理料の軽減を。 ・鳥獣被害に対する、管理官制度の導入が必要ではないか。 ・放射能汚染によって子供達の遊び場が制限されるので、線量計測の場所を細やかに実施してほしい。 ・竹駒地区の県道 340 号線は嵩上げされると聞くが、道路沿いの店舗の今後は？ ・防潮堤高に関して説明会は開催されるのか？ ・放射能汚染被害における椎茸原木の払下げ及び木炭・竹炭への対応は？ ・乳牛の餌となる牧草への放射能汚染被害への対応は？ ・保育所では、地元採取のヨモギを使用した餅を提供していたが、大丈夫？ ・矢作小学校校舎を利活用する宿泊施設建設の進捗状況は？ ・J R の復旧の見通しがなかなか見えてこないが、B R T でもいいのでは？ ・消費税増税に反対決議をしたのはなぜか？ ・県道 246 号線や生活道路の改修工事を早急にしてほしいので、調査して関係機関と連携を密にしてほしい。 ・山津波による道路の不通区間があるが、早急な対応をしてほしい。 ・東日本大震災直後、市の依頼を受けて常備していた衛星電話を貸し出ししたが、返却されていない。 	
所 感	<p>藤倉泰治</p> <p>復興のためにも、被災していない生出地区の役割での発言、要望が多かった。道路、住宅や新たな施設整備などで地域と一緒に考えていく重要性を感じた。しいたけ等の原発被害の深刻さを改めて考えさせられ、具体的対応が求められる。</p> <p>消費税などで議員個々の考えも求められ、今後の議会報告会のもち方で検討の必要性も感じた。</p> <p>清水 幸男</p> <p>放射能汚染での、木材・木炭等の風評に関する課題も深刻化されつつあ</p>	

り、これら現状の把握と調査体制の強化等の必要性を改めて感じた。

また、災害時の後方支援としての道路整備、公共施設等の設置も重要との意見も伺えた。

菅原 悟

生出会場は約30名の参加。山間部ということで、防災集団移転や防潮堤の話など殆どされず、放射能汚染に関する農作物に対する賠償問題について多くの意見が出された。

また、矢作小学校校舎を活用しての宿泊施設建設の進捗状況についても意見が多く出された。

菅野 定

市内全域の問題を取り上げながら、放射能による被害では生出ならではの問題の生活の糧であるしいたけ栽培などを大きな視野で問題を投げかけられ自分たちの不甲斐なさを感じました。また、JR東日本による早期の開通を待ち望んでいる気持ちに応えられない自分たちがいることを反省しました。

陸前高田市議会議長 殿

平成24年5月31日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成24年度議会報告会第3班

班長 藤倉 泰治 ㊞